

小 展 示 「古墳へでかけよう！ ～浜松の横穴式石室～」
 「干支展 寅」
 催し物案内 「春休み体験館」
 「はまはくGW体験館」

Hamamatsu City History Museum

小展示

古墳へでかけよう！

～浜松の横穴式石室～

1400 年前の古墳時代へタイムスリップ！

浜松市内の横穴式石室をもつ古墳について、近年の調査成果も含めて出土品を展示しながら紹介します。また、現地見学可能な横穴式石室の見どころもお伝えします。

ぜひこの機会に地域に残る古墳へと訪れていただき、1,400 年前へのタイムスリップをお楽しみください。

むかいの
向野古墳（浜北区根堅・市指定史跡）
大型の石材が用いられた横穴式石室

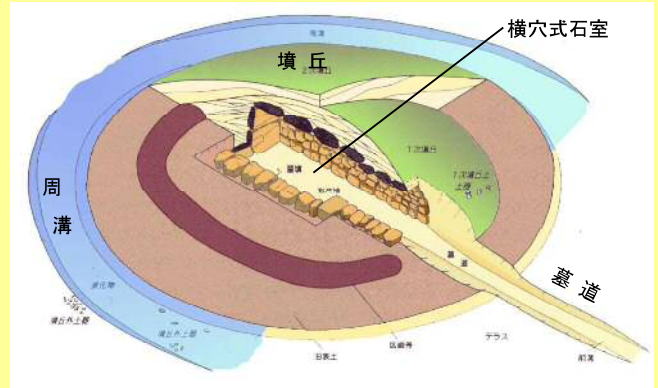
【小展示】 古墳へでかけよう！～浜松の横穴式石室～

- 会 期■ 令和4年3月5日（土）～5月8日（日）
- 休館日■ 月曜日・3月22日（火）・5月6日（金）※3月21日・3月28日・5月2日は開館
- 観覧料■ 大人310円、高校生150円
中学生以下、70歳以上、各種障がい者手帳をお持ちの方と介添え者1名は無料

横穴式石室とは

横穴式石室は古墳の埋葬施設の一形態で、石を積み上げて造られた部屋に横からの出入口がついているため、何度も埋葬することが可能です。朝鮮半島から日本列島に伝わり、古墳時代後期（6～7世紀）に普及しました。

浜松市内でも、6世紀以降多くの古墳で横穴式石室が用いられました。6世紀代には、畿内（当時の政治的中心である近畿地方中央部）の影響を受けた片袖式石室や両袖式石室という形態が比較的多く、6世紀末～7世紀に古墳の数が増えてくると、在地色の強いやや小型の無袖式石室や擬似両袖式石室と呼ばれる形態が主流となります。



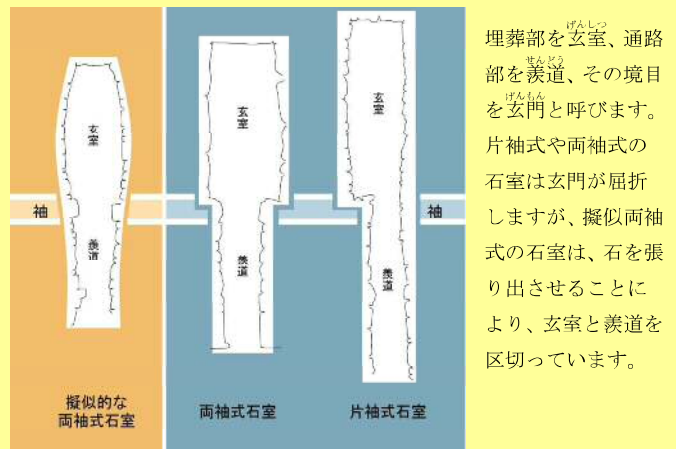
横穴式石室をもつ古墳の構造（例：宇藤坂A6号墳）

横穴式石室を埋葬施設とする古墳は、小型の円墳（直径10m前後）が多くを占めます。墳丘の周囲には溝（周溝）がめぐり、横穴式石室の出入口には、墳丘の外までのびる溝（墓道）が掘られています。

浜松に残る横穴式石室

浜松市内で知られている約1,700基の古墳のうち、9割以上は横穴式石室を埋葬施設としています。横穴式石室は、小型の古墳に用いられることが多いため、後世の開発行為によって破壊されていることがほとんどですが、現在まで保存されており、中に入ることができる例もいくつか存在します。

今回の展示では、浜松における発掘調査の成果や出土品とともに、現地を見学できる横穴式石室についての見どころなどの情報もお伝えします。



横穴式石室の形態



興覚寺後古墳（浜北区宮口・市指定史跡）
浜松で最初に横穴式石室（片袖式）を導入



火穴古墳（西区深萩町・市指定史跡）
全長9.3mと大型の横穴式石室（両袖式）



見徳古墳（北区都田町・市指定史跡）
擬似両袖式の横穴式石室が良好に保存



愛宕平古墳（北区三ヶ日町都筑・市指定史跡）
天井部に玄室と墓道の間を区切る櫛石を配置



恩塚山古墳（北区都田町・市指定史跡）
玄室が墓道に直交する珍しいT字形の石室



蛭子森古墳（東区豊町・市指定史跡）
平野部に築かれた横穴式石室（片袖式）の古墳

出土した副葬品

横穴式石室の内部からは、死者が身に付けていた装身具のほか、武器や馬具類、供えられた土器などの副葬品が出土します。

こうした副葬品の内容と、横穴式石室や墳丘の形態・規模などを総合的に把握することで、埋葬された人物の社会的地位や性格などを推測することができます。また、その年代を調べることで、その古墳がいつ頃築かれ、何度埋葬が行われたのかを知ることができます。



上：蛭子森古墳出土の須恵器
鳥形の装飾がほどこされている

左：蜷塚古墳群の副葬品
金銅板で飾られた馬具などが出土

関連企画を開催します

ギャラリートーク

日時：3月6日（日）
4月2日（土）

いずれも午前10時30分
～午前11時

会場：浜松市博物館 特別展示室
申込：不要。直接会場へ
費用：観覧料が必要

第2回はまはく講座「浜松の横穴式石室を語る」

日時：4月9日（土）午前10時～正午

会場：浜松市博物館 講座室

申込：HP 申込フォームまたは往復はがき
（申込期間 2/26～3/21）※2名まで

定員：40人（申込多数の場合抽選）
費用：観覧料が必要

はまはくGW体験館

～（仮）古墳時代にタイムスリップ！～

日時：5月1日（日）～5日（木）

会場：浜松市博物館

内容：まが玉づくり体験など古墳
に関連した体験学習を開催

申込：不要。直接会場へ

費用：観覧料と一部体験料が必要

石ノ塔古墳・唐沢古墳群発掘調査報告会

日時：4月30日（土）
午前10時～午前11時30分

会場：浜松市博物館 講座室

申込：HP 申込フォームまたは往復はがき
（申込期間 3/12～4/16）※2名まで

定員：40人（申込多数の場合抽選）
費用：観覧料が必要

現地見学会「天浜線で横穴式石室をめぐる」

日時：5月7日（土）午前10時～午後3時

会場：天浜線西鹿島駅集合後、天浜線に乗車

向野古墳・興覚寺後古墳・愛宕平古墳を見学

申込：HP 申込フォームまたは往復はがき
（申込期間 3/12～4/16）※2名まで

定員：15人（申込多数の場合抽選）
費用：鉄道運賃は各自負担が必要



石ノ塔古墳の調査状況

小展示『干支展 寅』

豊橋市自然史博物館との相互協力により、本年の干支である「寅」を題材にして、自然史・歴史・民俗資料を紹介する小展示を開催します。

主な展示品

浜北区根堅の石灰岩採石場からは、18,000年前の地層からトラの化石が発見されており、太古の浜松にはトラが生息していたことが分かっています。このトラの化石の複製品を展示します。

また、浜松を代表する郷土玩具「浜松張子」の代表的な作品として、首振り寅があります。浜松張子の他にもユニークな寅の郷土玩具がご覧いただけます。

これらのほか、トラにちなんだ名前の付いた昆虫や貝をはじめ、ネコ科の動物たちの頭骨なども展示します。

会期 令和4年3月15日（火）～5月8日（日）



トラ頭骨の化石（根堅遺跡・複製品）



首振り寅（浜松張子）

催し物案内 令和4年3～5月

月	休館日	展示	講座・体験・その他
3	7 (月) 14 (月) 22 (火)	常設展 「目で見る浜松の歴史」 小展示 「古墳へでかけよう！」 ～浜松の横穴式石室～ 3/5 (土) 3/15 (火) 5/8 (日)	小展示「道具たちの100年」 ～3/2 (水) 小展示「干支展 寅」 3/15 (火) 5/8 (日)
	4 (月) 11 (月) 18 (月) 25 (月)		6 (日) ギャラリートーク (古墳へでかけよう!) 12 (土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 19 (土) ～4/3 (日) 新聞切り抜き作品 コンクール優秀作品展 23 (水) ～31 (木) 春休み体験館 26 (土) しじみの森 桜コンサート 27 (日) 新聞切り抜き作品教室
5	6 (金) 9 (月) 16 (月) 23 (月) 30 (月)		2 (土) ギャラリートーク (古墳へでかけよう!) 9 (土) 第2回はまはく講座 「浜松の横穴式石室を語る」 9 (土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 30 (土) 石ノ塔古墳・唐沢古墳群発掘調査報告会 1 (日) ～5 (木) はまはくGW体験館 7 (土) 現地見学会「天浜線で横穴式石室をめぐる」 14 (土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

春休み体験館 3/23(水)～31(木)

高校生以上は別途観覧料が必要

 <p>クイズラリー 期間中毎日開催 ■9:00～16:00 ■無料</p>	<p>しじみの森 桜コンサート 26日(土) ①14:30～15:15 ②17:15～18:00 ■①は蜷塚公園内(無料・雨天中止) ■②は博物館内(無料・入場制限有・先着順) ※②と同時開催「夜のナウマンゾウライトアップ」</p>
 <p>オリジナル春色まが玉作り体験 毎日(26日は無し) ■9:15～11:15 13:00～15:00 ■1つ 200円 色染め無料 ■所要時間約60分</p>	<p>遺跡・博物館ガイドツアー 26日(土) ①13:30～ ②15:15～ 27日(日) ①10:30～ ②11:15～ ③13:30～ ④14:15～ ■所要時間約40分</p>

はまはくGW体験館 ～(仮)古墳時代にタイムスリップ!～ 5/1(日)～5(木)

銅鏡風ミニ鏡づくり まが玉づくり 缶バッジづくりなどを予定

浜 松 市 博 物 館

だ よ り

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が取り止めになる場合があります。最新の情報はホームページ(右のQRコード)またはSNSでご確認ください。

Vol.40 No.3 通巻148号 2022年3月4日発行
静岡県浜松市中区蜷塚四丁目22-1 電話053-456-2208
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>

